３．オンライン講演申し込み・アブストラクト投稿システムについて

アクセス先：

すべての手続きは APP サーバ URL　https://app.mathsoc.jp/
にアクセスして行います．必要な情報はこのページからリンクされています．

基本的な流れ：

講演申し込みの基本的な流れは

アカウント作成（Activation）→ 講演申し込み → アブストラクト投稿

の３段階になっています．すでに Activation を済ませている場合は，講演申し込みから始めます．
ただし，所属を変更する場合は Activation システムにおいて修正を行います．
事務局に葉書で，またはマイページで会員情報の修正を申告しても，オンラインシステムの情報は修正されません．
また，Activation システムで情報を変更する場合は，引き続き会員情報の修正届けを作成して事務局の会員係に電子的に申告することもできます．
この流れで作業を始める前に，過去のプログラムとアブストラクト集でどのような様式・習慣で一般講演が運営されているのかを具体的に確認してください．

マニュアル：

APP サーバのトップページには，「＊マニュアルなどの情報」の項目があり，そこにアクセスすると，詳しいマニュアルや補足説明が入手できます．ウェブ上のマニュアルは最新のシステムにほぼ準拠したものになっています．

アカウントの作成（Activation）：

講演申し込み・アブストラクト投稿を含むオンラインシステムのアカウントを作成します．このアカウントは，会員番号と Activation Key を用いて，ID とパスワードを設定することで作成します．アカウントの ID は日常よく使う電子メールアドレスとします．電子メールアドレスには，パスワード設定，講演申し込みの（仮）受付の通知，アブストラクト受領の通知などが送られてきます．APP サーバのトップから「アクティベーションシステムの詳細情報」に行くと，Activation のためのマニュアルがリンクされています．
入会希望者には，講演申し込み・アブストラクト投稿のモジュールに限定したアカウントを発行いたしますので，「４．年会，総合分科会における一般講演について」をご覧ください．
なお，最新の会員証は２０２１年度会員名簿に同封しています．（Activation Key については「数学通信」第１９巻１号（２０１４年５月号）掲載の会報１５３「８．会員証の送付について」もご覧ください．）
Activation Key に関する問い合わせは，電子メールで member@mathsoc.jp にお送りください．１１月２５日（水）１７時までに問い合わせが届かないと，講演申し込みの締め切りに間に合わないことをご理解ください．（事務局でないと会員のステータスに関する情報にアクセスできないからです．）
今回の大会でも事前に会員に限ってアブストラクトを公開する分科会があります．
アブストラクト集にアクセスするためには，ここで作成するアカウントが必要になりますので，講演を申し込まない場合でもアカウントの作成をお願いします．

講演申し込み：

ここで入力したデータを用いてプログラムが作成されます. アカウントを作成した後に，設定した ID とパスワードを用いて APP サーバ

https://app.mathsoc.jp/

のメニューから「講演申し込み・アブストラクト投稿システム」にログインしてこの手続きを始めてください.

(i) 共同発表者を含めて氏名を略さずに，欧文で First Name，Family Name の順に Friedrich Gauss のように入力をお願いします. 従来の和文の氏名も入力をお願いします（もし共同発表者に和文の氏名がない場合は，英文氏名だけの入力で問題ありません）.
共同研究者がいる場合は，共同発表者としてプログラムに記載するのが適切ですから，必ず入力するようにしてください.

(ii) 所属については，通常の和文略称を入力してください（欧文の大学名，研究所名はプログラムの編集段階で事務局が入力します）.

(iii) 通常のアブストラクトに加えて英文サマリー（120words（８行）程度が上限）を講演申し込みのときに入力をお願いいたします. 英文サマリーは学会プログラム最終版の公開と同時に開催情報のウェブページで公開します.

共同発表者が会員である場合は共同発表者の会員番号も忘れずに入力するようにお願いします.

アブストラクト投稿：

次の段階に進んでアブストラクトの PDF ファイルをアップロードします. 分科会によって制限されたページ数のチェックも行います（応用数学分科会を除き２ページが上限です. 応用数学分科会は４ページが上限です）. 講演申し込みおよびそれに続くアブストラクト投稿を**１１月２７日（金）２３時５９分**までに済ませてください.
PDF の**用紙サイズが A4** になっているか「プロパティ」などで確認の上，投稿をお願いします. レターサイズとなっている場合は，余白の不足など予期せぬ結果が生じますので，ご注意ください.

重要な注意：

実際に登壇して発表することを口頭発表と呼びます. ２０１５年度年会から実際に口頭発表を行う登壇者だけが講演申し込みを行えるようにシステムをカスタマイズしました. その結果，登壇しない共同発表者が講演申し込みを行うことができなくなりましたので，ご注意ください.

講演題目の数式・異体字：

講演題目の数式は TeX で記述します. その制限事項などについては，マニュアルに記述してあります. また，講演者名や講演題目に異体字を使うことができます. 上で説明した APP サーバー上のメニュー「＊マニュアルなどの情報」を選択するとその説明が見つかります.

問い合せ先：

オンラインシステムに関する問い合わせは

https://www.mathsoc.jp/activity/inquiry.mgate/

の問い合わせフォームからお願いします.

問い合わせフォーム受付期限について：

アカウント作成（Activation），講演申し込み等に関しての問い合わせは

問い合わせフォーム　１１月２５日（水）１７時まで

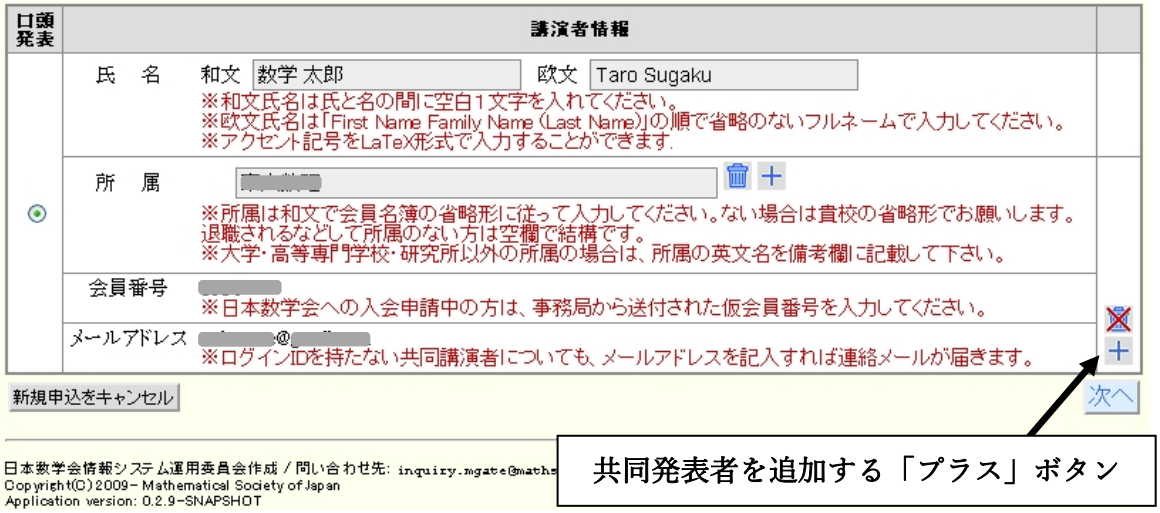
といたします．事務局への電話での問い合わせは，一切受け付けません．時間に余裕をもって進めてください．

講演申し込みのときによくあるミス

【共同発表者の記入漏れ】

オンラインシステムによる講演申し込みを導入して以降，最も多いトラブルは，**共同発表者の記入漏れ**です．実際，アブストラクトにある共同発表者名がプログラムにないケースが毎回散見されます．

ここでは，オンラインシステムで発表者の欄を増やす方法について説明しておきます．下図の右端（「次へ」のボタンの上）にある「プラス」のボタンを押すと共同発表者の欄が増えますので，共同発表者の記入漏れがないようお願いします．



【講演申込システムに入力した講演題目とアブストラクトの題目が異なる】

共同発表者の記入漏れに加えて，**プログラムとアブストラクトの間で講演題目が異なるという事例も数多くあります．**日本数学会では，このような場合は講演申し込みをされた会員に連絡をするようにしていますが，プログラムおよびアブストラクトの編成作業の障害にもなっています．**講演申し込みをされる場合はアブストラクト原稿との整合性に十二分に注意してください．**

なお，特別講演および企画特別講演のアブストラクトは講演者（＝登壇者）による単著としますので，ご留意願います．